

御堂筋・アート・ウィンドー

会期:2009年12月12日[土]-2010年3月22日[月・祝]

御堂筋沿いに並ぶ、大阪富士ビル、武田御堂筋ビル、京阪神不動産ビルなど(約14~15箇所を予定)現代建築のロビー、エントランスなどに、大阪府所蔵の美術作品が展示されます。清水九兵衛の彫刻や、津高和一、岡田修二の絵画、陳龍斌(チェン・ロンビン)の電話帳を用いた作品など、多彩な作品が御堂筋のビル街に登場します。

近代建築&アート・コレクション

①現代版画の魅力

会場:大阪倶楽部(2階談話室)

会期:2009年12月22日[火]-2010年1月9日[土]

開館時間:11時-19時(最終日のみ17:00まで)

休館日:12/23(水)、12/27(日)-1/3(日)

大正元年に創立された大阪倶楽部は、建築家安井武雄氏が設計し、南欧風の様式に東洋風の手法を加味した4階建ての近代建築で、英国風会員制倶楽部として運営されてきました。1997年に登録有形文化財の指定を受けたこの近代建築の2階で、大阪府所蔵の版画コレクションの中から珠玉の作品をご覧ください。

②女性作家たち展~大阪府20世紀美術コレクションより~

会場:芝川ビル(4階展示室)

会期:2010年1月6日[水]-1月16日[土]

開館時間:11時-19時 休館日:1月10日(日)

昭和2年に竣工された芝川ビルは、当時では珍しい鉄筋コンクリート製でありながら、南米マヤ・インカの装飾をまとっているという独特な近代建築です。このビルは竣工から2年後に、「芝蘭社(しらんしゃ)家政学園」として使われました。現在の女子短大のはしりであったとも言われる歴史をもつ、この近代建築の最上階で、大阪府所蔵の美術コレクションから、女性作家たちの作品を集めた展覧会を開催します。

御堂筋・アート・ウィンドー展示作品

③大阪富士ビル
陳龍斌(チェン・ロンビン)“顔2”

④興銀ビル
森口宏一“作品”

⑥武田御堂筋ビル
清水九兵衛“彫刻小品”

⑦りそな銀行御堂筋支店
上前智祐“立体(オブジェ)”

⑧大阪ガスビル
アンソニー・グリーン“歩く”
前期(12月から1月)
太郎千恵蔵“カーフ・エンジンI”
後期(2月から3月)

⑨IDC大塚家具
デビッド・グラント“記号と驚嘆”

⑩京阪神不動産御堂筋ビル
吉水浩“タンゴ”
岡田修二“テイク#15”
ジョージ・スカーデ
“ニューヨーク ニューヨーク”
あるいは摩天楼が消えれば何が残るのだろう?”

⑪御堂筋野村ビル
内田晴之“FLY-1”

⑫銀泉備後町ビル
ノルベール・ネスラー“黒と白”

⑬住友生命本町ビル
清水九兵衛“affinityA”

⑭アリアフィーナ株式会社
花博・陶磁器約15点

⑮御堂筋本町ビル
エル・アナツイ“空飛ぶネクタイをする男”

⑯御堂ビル
井原康雄“作品61-D”

⑰ギャラリー収納
津高和一“埒外”

近代建築&アート・コレクション展示作品

①大阪倶楽部
李禹煥(リ・ウーファン)“廃虚へ”
池田満寿夫“日本の風景 宗達の森”

②芝川ビル
木村嘉子“丸の作品(6)”
田中栄子“森へつづく”

